

# 富山県におけるSDGsの普及啓発とその達成に向けたパートナーシップ構築

活動地域 富山県

ひろげる助成  
**3年目**  
知識の提供・普及啓発

協働プロジェクトの実働数	<b>10</b> 個
オンラインフォーラム動画再生回数	<b>388</b> 回
今年度計画の達成度	<b>80</b> %
目標達成度	<b>80</b> %



だれ一人取り残さないSDGs普及啓発冊子

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

オンライン手法を初めて取り入れたため、慣れるまでマイクのハウリング対処や安定したネット環境の確保、現場でのセッティングに苦慮した。

### ■ 工夫した点

SDGsの「だれ一人取り残さない」理念共有を多様な人々と分け隔てなく対話を通じて行えるよう、お寺のマルシェ企画とコラボしオープン開催した。オンラインも同時開催。

## 課題

持続可能な開発目標「SDGs」の認知が、富山ではあまり進んでおらず、SDGsに必要とされる「あらゆる人々の協力体制：パートナーシップ」が築かれていない。

## 目標

富山県内において、セミナーやWeb等の情報発信、ヒト・コトが出会う場の提供（カフェ）を行い、SDGsの認知向上や実践体制となるパートナーシップ構築を目指す。

## 活動内容と成果

- SDGsの「だれ一人取り残さない」理念共有と地域課題のあぶり出しを目的としたSDGsトークカフェ（お寺＆オンライン開催）を全6回実施。県内外の累計180人が参加。その様子を冊子としてまとめ、2,000部印刷し、県下へ広く配布
- 協働プロジェクトを推進する人材育成とした「SDGsコーディネーター能力強化セミナー」を2回実施。自治体SDGs関係者中心に24人が受講
- 地域指標づくりをテーマとしたオンラインフォーラムを開催



お寺で開催したSDGsトークカフェ



SDGsコーディネーター能力強化セミナー

## 全助成期間の活動を振り返って

団体発足とともにこの活動をはじめ、当初はどれほどの影響を及ぼせるか不安だったが、社会的なSDGs浸透も相まって、年々活動が広く認知されるようになり、富山県内でのSDGs認知と実践促進において、一定の役割を果たすことができた。特に異なるセクター間の交流や接点創出に大きく貢献できた。当団体と直接の関係ができた団体だけでもざっと100ほどになる。本助成を受けられたことに心から感謝したい。

〒939-2702  
富山県富山市婦中町田島854-3  
電話：076-400-8305  
E-mail：info@pectoyama.org  
HP：https://www.pectoyama.org



## 今後の展望

SDGsが地域でも浸透する中、具体的にどんなことに配慮何をしていけばいいかという指針や指標が求められつつある。この3年間の活動でみてきた地域課題や様々な団体とのネットワークを礎として、ローカルSDGsの指標づくりと運営体制を築き、地域指標の見える化（Webでの公開等）を行っていく。併せてローカルSDGsの実装（包括的でレジリエンスのある地域づくり）につながるプロジェクトへの支援活動も行う。